

1. 単元の目標

- 5年生で学習した語句や表現を復習する。
- 英語の語順について知る。

2. 言語材料

語句	動作	swim, cook, ride, run, play, dance, visit, see, eat, watch など
	得意なこと	singing, swimming, playing the piano, riding a unicycle など
	特徴	strong, kind, smart, cheerful, friendly など
表現	My birthday is (June 22nd). I can (run fast). I'm good at (playing soccer). She's[He's] good at (singing). She's[He's] (cheerful). Where do you want to go? I want to go to (New Zealand). I want to (see sheep). I like (cats).	

3. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	
1	(10-11)	目標 5年の学習をふり返ろう。 【Watch the Scene】 ・アニメーションを見て、場面や話の内容を想像する。 Small Talk 【Listen and Do①】 ・自己紹介を聞いて、誕生日や得意なこと、できることを聞き取る。 【Listen and Do②】 ・他者の紹介を聞いて、得意なことや特徴を聞き取る。 【Activity】 ・自分のことや友達のことについて伝える。 【Listen and Do③】 ・行ってみたい国やそこでしたいことを聞き取る。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	(12-13)	目標 英語の語順について知ろう。 Small Talk 【Listen and Do④】 ・日本語と外国語の語順の違いを知る。 ・英語の語順を意識して文を作り、尝试みる。 【Listen and Read】 ・音声を聞いて、頭文字を頼りに読まれた語の文字を選ぶ。 【Say and Write】 ・語順を意識しながら文を声に出して読んでみる。 ・自分の好きなものを言って書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

Unit 1

I'm from Tokyo, Japan.

自己紹介

p.14-23

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 外国の人と仲良くなるために、自己紹介をし合って相手のことを理解したり、自分のことを理解してもらったりすることができる。
- アルファベット(b, c, d, f, g, h, j)の音読みについて理解し、音を聞いてどの文字かわかる。

2. 言語材料

語句	得意なこと	swimming, surfing, dancing, cooking, skiing, skating, running, singing, drawing, speaking English, playing soccer, playing the piano
	好きなもの	sport (soccer, baseball, volleyball など), subject (English, home economics, science など), animal (dolphin, cat, bear, rabbit など), color (red, blue など), food (spaghetti, curry and rice など)
	日付	January～December, 1st～31st
表現		I'm from (Paris, France). I'm good at (drawing). What's your favorite (sport)? — My favorite (sport) is (baseball).

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的(下線部)に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 出身地、得意なこと、好きなものを表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた自己紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	<u>相手(外国の人)について知るために</u> 、出身地、得意なこと、好きなものなどを含む自己紹介を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	<u>相手(外国の人)について知るために</u> 、出身地、得意なこと、好きなものなどを含む自己紹介を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 好きなものをたずねたり答えたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	○友達のことを知るために、好きなこと・ものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	○友達のことを知るために、好きなこと・ものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	○<知識> 出身地、得意なこと、好きなものを伝える表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、自分のことを伝える技能を身につけている。	○自分のことについて外国の人に知ってもらうために、出身地、得意なこと、好きなものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えている。	○自分のことについて外国の人に知ってもらうために、出身地、得意なこと、好きなものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	①<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日を表す語句や表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。 ②<知識> b,c,d,f,g,h,jの音読みについて理解している。 <技能> 初頭の文字を頼りに、単語の文字と音を結びつけることができる。	他者について知るために、出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日などについて、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味がわかっている。	他者について知るために、出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日などについて、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味をとらえようとしている。
評価基準 A	①音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。 ②イラストの補助なしに、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、必要な情報を読み取ろうとしている。
評価基準 B	①音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。 ②イラストの補助を得ながら、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	○<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日を表す文について、その文構造を理解している。 ○<技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	他者に自分の事をわかってもらうために、出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日などについて、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現している。	他者に自分の事をわかってもらうために、出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日などについて、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (14-17)	目標 出身地や得意なことを言ってみよう。準備編 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Listen and Do①】 【Jingle】 ・得意なことを表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・出身地や得意なことを言う表現を練習する。 【Activity】 ・自分の得意なことの伝え方を考える。				得意なことを言う表現を思い出そう。 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (16-17)	目標 出身地や得意なことを言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 ・得意なことを言う表現を復習する。 【Listen and Do②】 ・出身地や得意なことを聞き取る。 【Chant】 ・出身地や得意なことを言う表現を復習する。 【Activity】 ・友達と出身地や得意なことを伝え合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (18-19)	目標 好きなものを言ってみよう。準備編 好きなものをたずねたり答えたりする表現を知ろう。 Small Talk 【Words and Phrases】 【Jingle】 ・好きなものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Chant】 ・好きなものをたずねたり答えたりする表現を練習する。 【Activity】 ・さまざまなジャンルについて自分の好きなものを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (18-19)	目標 好きなものを言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do】 ・Sakura が選んだエプロンの柄を選ぶ。 【Jingle】 ・ジャンル名の語を復習する。 【Chant】 ・好きなものをたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・いろいろなジャンルの好きなものを伝え合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (20-21)	目標 いろいろな情報を入れて、外国の人に自分のことを伝えよう。準備編 外国の人に自己紹介を考えてペアで伝え合おう。 Small Talk 【Jingle】 【Chant】 p.16-19 出身地、得意なこと、好きなものを表す語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・外国の人に伝えるつもりで自己紹介を考えてペアで言ってみる。 【Friends around the World】 ・外国の子どもが自己紹介する映像を視聴する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (20-21)	目標 いろいろな情報を入れて、外国の人に自分のことを伝えよう。 Small Talk 【Jingle】 【Chant】 p.16-19 ・自己紹介をするために必要な語句や表現を復習する。 【Activity】 ・外国の人に話すつもりで自己紹介をする。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
7	*Let's Read and Write 1 (23)	目標 文字の音を知ろう。 【1】 【2】 ・アルファベットの音読みを聞いて言ってみる。 小文字カルタ ・アルファベットの音と文字が結びついているか確認する。 【3】 ・音声を聞いて、読まれた方を選ぶ。 ・文字をなぞる。書き写す。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※Let's Read and Write を 1,3,5 時間目に分割して配当することで、7 時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価
 ㊤学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ㊤目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ㊤音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。また、b,c,d,f,g,h,j の音読みについて理解し、その音を頼りに単語の文字と音を結び付ける技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ㊤目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ㊤音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ㊤目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 外国の人に日本に来たいと思ってもらえるように、日本でできることなどを紹介し、日本の魅力を伝えることができる。
- アルファベット(k, l, m, n, o, p, q, r)の音読みについて理解し、音を聞いてどの文字かわかる。

他教科との関連 社会（日本の文化や都道府県）

2. 言語材料

語句	日本の名物	castle, dome, shrine, lake, temple, Mt., bridge, hot springs, festival
	ものの様子 や説明	beautiful, exciting, relaxing, fun, delicious
	動作	enjoy, see, eat, visit, drink
	表現	In (spring), you can enjoy (cherry blossoms). They are (beautiful). (Tokyo) is a good place. You can (see Tokyo Tower). Don't miss it.

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 日本の、ある季節またはある場所でできることを表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた日本の紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	日本のさまざまな魅力を知って、外国の人に紹介するために、日本各地の紹介を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取っている。	日本のさまざまな魅力を知って外国の人に紹介するために、日本各地の紹介を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	日本の、ある季節またはある場所でできることを表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	日本の、ある季節またはある場所でできることを表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> 日本でできることを伝える表現について理解している。 ◎<技能> 上記表現を用いて、自分の持つ情報を伝える技能を身につけている。	◎外国の人に来てもらえるように、日本の場所やそこでできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えている。	◎外国の人に来てもらえるように、日本の場所やそこでできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	①<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、日本を紹介する語句や表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。 ②<知識> k,l,m,n,p,q,rの音読みについて理解している。 <技能> 初頭の文字を頼りに、単語の文字と音を結びつけることができる。		
評価基準 A	①音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。 ②イラストの補助なしに、単語の文字と音を結びつけることができる。		
評価基準 B	①音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。 ②イラストの補助を得ながら、単語の文字と音を結びつけることができる。		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	○<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、日本を紹介する文について、その文構造を理解している。 ○<技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	外国の人に来てもらえるように、日本の魅力について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分の意見を表現している。	外国の人に来てもらえるように、日本の魅力について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分の意見を表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (24-29)	目標 季節ごとに日本で楽しめるものを書いてみよう。準備編 名所の名前や季節を表す語句を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Jingle】 ・日本の名物などを表す語句に慣れ親しむ。 【Words and Phrases】【Jingle】 ・季節ごとに日本で楽しめるものやその特徴を紹介する語句や表現に慣れ親しむ。 【Chant】 ・季節ごとに日本で楽しめるものを紹介する表現を練習する。 【Activity】 ・季節ごとに日本で外国の人が楽しめるものを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (28-29)	目標 季節ごとに日本で楽しめるものを書いてみよう。 Small Talk 【Jingle】 ・ものの様子を説明する形容詞を導入する。 【Listen and Do】 ・日本で楽しめるものについての特徴を聞き取る。 【Chant】 ・季節ごとに日本で楽しめるものを紹介する表現を復習する。 【Activity】 ・季節ごとに外国の人が楽しめるものを、グループで話し合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (30-31)	目標 おすすめの地域でできることを書いてみよう。準備編 Small Talk 【Listen and Do①】 ・都道府県を紹介を聞いて、そこでできることを聞き取る。 【Jingle】【Chant】 ・おすすめしたい地域でできることを紹介する語句や表現を練習する。 【Activity】 ・外国の人に紹介したいおすすめ地域とそこでできることを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (30-31)	目標 おすすめの地域でできることを書いてみよう。 Small Talk 【Listen and Do②】 ・地域の紹介を聞いて、情報を得る。 【Jingle】【Chant】 ・おすすめしたい地域でできることを紹介する語句や表現を復習する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
		【Activity】 ・おすすめ地域でできることを紹介する。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				
5	3 (32-33)	目標 外国の人に、日本の魅力を紹介しよう。準備編 ペアで日本の魅力を紹介しよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.28-31 ・日本でできることを紹介するために必要な語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・外国の人に来てもらえるような日本の魅力の紹介を考え、ペアで伝え合う。 【Friends around the World】 ・外国の子供が自分の住む地域を紹介する映像を視聴する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (32-33)	目標 外国の人に、日本の魅力を紹介しよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.28-31 ・日本でできることを紹介するために必要な語句や表現を復習する。 【Activity】 ・外国の人に来てもらえるように、日本の魅力を紹介する。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。	発	発	発	話すこと【発表】の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉
7	*Let's Read and Write 2 (35)	目標 文字の音を知ろう。 【1】【2】 ・アルファベットの音読みを聞いて言う。小文字カルタ ・アルファベットの音と文字が結びついてるか確認する。 【3】 ・音声を聞いて、読まれた方を選ぶ。 ・文字をなぞる。書き写す。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※Let's Read and Write を 1,3,5 時間目に分割して配当することで、7 時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。また、k,l,m,n,p,q,r の音読みについて理解し、その音を頼りに単語の文字と音を結び付ける技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 自分たちの住む地域をさらに良くするために、地域の良さや理想について意見をやり取りしたり、提案したりすることができる。
- アルファベット(s, t, v, w, x, y, z)の音読みについて理解し、音を聞いてどの文字かわかる。

他教科との関連：総合的な学習の時間

2. 言語材料

語句	施設や設備	park, gym, swimming pool, stadium, science museum, aquarium, zoo, library, shopping mall, movie theater, amusement park, sidewalk, skate park, bench, campsite, street light, free Wi-Fi, ramp, elevator
表現		We have (a library). We can (read many books). What do we need in our town? — We need (elevators). We can (move easily).

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的(下線部)に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 施設の名前や、地域にあるもの・できること・必要だと思ふものを表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた町についての話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	相手が思う、住む地域の良さや理想について知るために、相手の考えを含むまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取っている。	相手が思う、住む地域の良さや理想について知るために、相手の考えを含むまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	施設の名前や、地域にあるもの・できること・必要だと思ふものを表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	施設の名前や、地域にあるもの・できること・必要だと思ふものを表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	◎<知識> 地域に必要なだと思ふものをたずねたり答えたりする表現について理解している。 ◎<技能> 上記表現を用いて、相手に質問したり、自分の意見を答えたりする技能を身につけている。	◎友達と、自分たちの住む地域についての意見を共有するために、地域に必要なだと思ふものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	◎友達と、自分たちの住む地域についての意見を共有するために、地域に必要なだと思ふものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	○<知識> 地域にあるものやできること、必要だと思ふものやその理由を伝える表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、自分の考えを伝える技能を身につけている。	○自分の住む地域をさらによくする提案に賛同してもらえるように、地域の良さや理想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えを相手に伝えている。	○自分の住む地域をさらによくする提案に賛同してもらえるように、地域の良さや理想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	①<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、地域にあるものやそこでできること、必要だと思ふものやその理由を表す表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。 ②<知識> s,t,v,w,x,y,zの音読みについて理解している。 <技能> 初頭の文字を頼りに、単語の文字と音を結びつけることができる。	自分たちの住む地域についての他者の意見を知るために、地域にあるものや必要だと思ふものについて、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味がわかっている。	自分たちの住む地域についての他者の意見を知るために、地域にあるものや必要だと思ふものについて、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味をとらえようとしている。
評価基準 A	①音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。 ②イラストの補助なしに、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、必要な情報を読み取ろうとしている。
評価基準 B	①音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。 ②イラストの補助を得ながら、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	○<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、地域にあるものやそこでできること、必要だと思ふものやその理由を表す文について、その文構造を理解している。 ○<技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	他者と、自分たちの住む地域についての意見を共有するために、地域の良さや理想について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分の意見を表現している。	他者と、自分たちの住む地域についての意見を共有するために、地域の良さや理想について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分の意見を表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (36-39)	<p>目標 自分の住む地域にあるものを書いてみよう。準備編 自分の住む地域にあるものを表す表現を知ろう。</p> <p>【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。</p> <p>【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。</p> <p>【Words and Phrases】【Jingle】 ・施設を表す語句に慣れ親しむ。</p> <p>【Chant】 ・地域にあるものやそこでできることを言う表現を練習する。</p> <p>【Activity】① ・自分の地域にあるものとそこでできることを考える。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
2	1 (38-39)	<p>目標 自分の住む地域にあるものを書いてみよう。</p> <p>Small Talk【Jingle】 ・施設を表す語句を復習する。</p> <p>【Listen and Do】 ・地域にあるものやそこでできることを聞き取る。</p> <p>【Chant】 ・地域にあるものやそこでできることを言う表現を復習する。</p> <p>【Activity】 ・自分たちの住む地域にあるものやそこでできることについて話し合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
3	2 (40-41)	<p>目標 自分の地域に必要なだと思ふものを書いてみよう。準備編 自分の住む地域に必要な施設や設備の言い方を知ろう。</p> <p>Small Talk 【Listen and Do①】 ・地域に必要なものを聞き取る。</p> <p>【Jingle】 ・施設や設備を表す語句に慣れ親しむ。</p> <p>【Chant】 ・地域に必要なものをたずねたり答えたりする表現を練習する。</p> <p>【Activity】① ・地域に必要なものとその理由を考える。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
4	2 (40-41)	<p>目標 自分の地域に必要なだと思ふものを書いてみよう。</p> <p>Small Talk 【Listen and Do②】 ・地域に必要なものを聞き取る。</p> <p>【Jingle】 ・施設や設備を表す語句を復習する。</p> <p>【Chant】 ・地域に必要なものをたずねたり答えたりする表現を復習する。</p> <p>【Activity】 ・地域に必要なだと思ふものやその理由をたずね合う。 ・例文を見ながら、自分が言った内容を書く。</p>	や	や	や	<p>話すこと [やり取り] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしようとしている。〈行動観察〉</p>

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (42-43)	<p>目標 自分の住む地域をより良くするためのアイデアを発表しよう。準備編 自分の住む地域をより良くするためのアイデアを考えてペアで伝え合おう。</p> <p>Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.38-41 ・自分の住む地域の良さや、さらに良くするためのアイデアを話すために必要な語句や表現を復習する。</p> <p>【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。</p> <p>【Activity】 ・自分の住む地域の良さや、さらに良くするためのアイデアを考え、伝え合う。</p> <p>【Friends around the World】 ・外国の子どもが、地域に必要なものを話す映像を視聴する。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
6	3 (42-43)	<p>目標 自分の住む地域をより良くするためのアイデアを発表しよう。</p> <p>Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.38-41 ・自分の住む地域の良さや、さらに良くするためのアイデアを話すために必要な語句や表現を復習する。</p> <p>【Activity】 ・自分の住む地域の良さや、さらに良くするためのアイデアを発表する。 ・例文を見ながら、話した内容を書く。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
7	*Let's Read and Write 3 (45)	<p>目標 文字の音を知ろう。</p> <p>【1】【2】 ・アルファベットの音読みを聞いて言ってみる。 小文字カルタ ・アルファベットの音と文字が結びついているか確認する。</p> <p>【3】 ・音声を聞いて、読まれた方を選ぶ。 ・文字をなぞる。書き写す。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>

※Let's Read and Write を 1,3,5 時間目に分割して配当することで、7 時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。また、s,t,v,w,x,y,z の音読みについて理解し、その音を頼りに単語の文字と音を結び付ける技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

1. 単元の目標

目的に沿って、Unit 1～3 で学んだ語句や表現を聞き取ったり、話したりすることができる。

2. 言語材料

Unit 1

語句	得意なこと	swimming, surfing, dancing, cooking, skiing, skating, running, singing, drawing, speaking English, playing soccer, playing the piano
	好きなもの	sport (soccer, baseball, volleyball など), subject (English, home economics, science など), animal (dolphin, cat, bear, rabbit など), color (red, blue など), food (spaghetti, curry and rice など)
	日付	January～December, 1st～31st
表現		I'm from (Paris, France). I'm good at (drawing). What's your favorite (sport)? — My favorite (sport) is (baseball).

Unit 2

語句	日本の名物	castle, dome, shrine, lake, temple, Mt., bridge, hot springs, festival
	ものの様子 や説明	beautiful, exciting, relaxing, fun, delicious
	動作	enjoy, see, eat, visit, drink
表現		In (spring), you can enjoy (cherry blossoms). They are (beautiful). (Tokyo) is a good place. You can (see Tokyo Tower). Don't miss it.

Unit 3

語句	施設や設備	park, gym, swimming pool, stadium, science museum, aquarium, zoo, library, shopping mall, movie theater, amusement park, sidewalk, skate park, bench, campsite, street light, free Wi-Fi, ramp, elevator
表現		We have (a library). We can (read many books). What do we need in our town? — We need (elevators). We can (move easily).

3. 単元の評価規準例

- ◎は記録に残す総括的評価の対象。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	◎<知識> これまでに学習した語句や表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した語句や表現を聞いて具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	◎Carlos の言ったことに応じて話すために、必要な情報を聞き取っている。	◎Carlos の言ったことに応じて話すために、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	これまでに学習した語句や表現を聞いて、正しく理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	これまでに学習した語句や表現を聞いて、おおむね正しく理解できている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> これまでに学習した表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した表現を用いて、自分のことを話す技能を身につけている。	◎Carlos の話に応じた内容を、Carlos (外国の人) にわかりやすく伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	◎Carlos の話に応じた内容を、Carlos (外国の人) にわかりやすく伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	(46)	目標 外国の人に、自分の学校や生活について話そう。準備編 Small Talk ・Unit 1～3 で学んだ表現を使う。 【Jingle】【Chant】(Unit 1-3) ・Unit 1～3 で学んだ語句や表現を復習する。 【Try】 1 ・Carlos の話を聞いて、わかったことをメモする。 【Try】 2 ・Carlos の話に対して、自分の国の何を紹介すべきかを考えて言う。	聞	聞	聞	聞くことの記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取ろうとしている。〈記述分析〉
2	(46-47)	目標 外国の人に、自分や自分の国について話そう。 Small Talk ・Challenge への導入。 【Try】 2 ・より良い伝え方を考え、もう一度話す。 【Challenge】 ・質問に答える。	発	発	発	話すこと [発表] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えている。〈行動観察〉〈記述分析〉 ◎目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉〈記述分析〉

Unit 4

I went to the zoo. 体験したこと

p.50-59

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分ことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 自分の経験を友達と共有したり、記録に残したりするために、最近したことを伝えたり、見本を参考にして書き写したりすることができる。
- アルファベット(ch, sh, th, wh)の音読みについて理解し、音を聞いてどの文字かわかる。

2. 言語材料

語句	感想	great, good, fun, exciting
	行った場所	beach, park, river, mountains, lake, grandparents' house, stadium など
	見たもの	rainbow, beetle, fireworks, movie, soccer game など
	食べたもの	watermelon, grilled fish, curry and rice など
	楽しんだこと	swimming, fishing, hiking, camping,
	買ったもの	soccer uniform
	したこと	badminton, piano
	作ったもの	curry and rice, model ship
	読んだもの	book
過去の動作	went to, saw, ate, enjoyed, watched, bought, played, made, read	
表現	How was your summer vacation? — It was (great). I (went to the beach). What did you do yesterday? — I (played tennis) (yesterday). It was (exciting).	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的(下線部)に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 最近したことやその感想を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた話し手の体験を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	他者が伝えたい最近のできごとを知るために、したことや感想を含むまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取っている。	他者が伝えたい最近のできごとを知るために、したことや感想を含むまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	最近したことやその感想を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	最近したことやその感想を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	◎<知識> 最近したことについてたずねたり答えたりする表現について理解している。 ◎<技能> 上記表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	◎友達のことを知るために、最近のできごとについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	◎友達のことを知るために、最近のできごとについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	○<知識> 最近したことやその感想を表す表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、自分のことを伝える技能を身につけている。	○友達に夏休みの思い出を伝えるために、したことや感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えている。	○友達に夏休みの思い出を伝えるために、したことや感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	①<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、最近したことやその感想を表す語句や表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。 ②<知識> ch,sh,th,whの音読みについて理解している。 <技能> 初頭の2文字を頼りに、単語の文字と音を結びつけることができる。	他者が伝えたい最近のできごとを知るために、したことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味がわかっている。	他者が伝えたい最近のできごとを知るために、したことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味をとらえようとしている。
評価基準 A	①音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。 ②イラストの補助なしに、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、必要な情報を読み取ろうとしている。
評価基準 B	①音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。 ②イラストの補助を得ながら、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	◎<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、最近したことやその感想を表す文について、その文構造を理解している。 <技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	◎絵日記として思い出を残すために、したことや感想について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現している。	◎絵日記として思い出を残すために、したことや感想について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (50-53)	目標 夏休みの感想やしたことを言ってみよう。準備編 夏休みにしたことを言う表現を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Jingle】 ・感想や夏休みにしたことに関連する語句に慣れ親しむ。 【Words and Phrases】【Jingle】 ・したことを表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・夏休みの感想やしたことを言う表現を練習する。 【Activity】① ・夏休みにしたことを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (52-53)	目標 夏休みの感想やしたことを言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 ・感想や夏休みにしたことに関連する語句を復習する。 【Listen and Do】 ・夏休みの感想やしたことを聞き取る。 【Chant】 ・夏休みの感想やしたことを言う表現を復習する。 【Activity】 ・夏休みの感想やしたことをたずね合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (54-55)	目標 先週末や昨日したことを言ってみよう。準備編 先週末や昨日したことを言う表現を知ろう。 Small Talk 【Listen and Do①】 ・昨日したことを聞き取る。 【Jingle】 ・したことを表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・昨日したことをたずねたり答えたりする表現を練習する。 【Activity】① ・先週末にしたことを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (54-55)	目標 先週末や昨日したことを言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do②】 ・先週末にしたことを聞き取る。 【Jingle】 ・したことを表す語句を復習する。				

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
		【Chant】 ・先週末や昨日したことをたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・先週末にしたことをたずね合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。	や	や	や	話すこと〔やり取り〕の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしようとしている。〈行動観察〉
5	3 (56-57)	目標 最近の自分の体験を友達に伝えて、日記に書いてみよう。準備編 最近の自分の体験をペアで伝え合おう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.50-55 ・自分の体験を伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・伝えたい最近の出来事をペアで伝え合う。 【Friends around the World】 ・外国の子どもが、夏休みのできごとを話す映像を視聴する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (56-57)	目標 最近の自分の体験を友達に伝えて、日記に書いてみよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.50-55 ・自分の体験を伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Activity】 ・最近の印象に残った出来事をグループで伝え合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。	書	書	書	書くことの記録に残す評価 ◎音声で十分慣れ親しんだ表現について、その文構造を理解し、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。〈記述分析〉 ◎目的にそって、読み手に伝わるように書いている。〈記述分析〉 ◎目的にそって、読み手に伝わるように書くようとしている。〈記述分析〉
7	*Let's Read and Write 4 (59)	目標 文字の音を知ろう。 【1】 ・音声を聞いて言ってみる。 【2】 ・音声を聞いて他と違う音で始まる語を選ぶ。 【3】 ・音声を聞いて、読まれた語を選ぶ。 ・文字をなぞる。書き写す。 伝言ゲーム ・ミニマルペアの話のどちらかを伝言する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※Let's Read and Write を 1,3,5 時間目に分割して担当することで、7 時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。また、ch,sh,th,wh の音読みについて理解し、その音を頼りに単語の文字と音を結び付ける技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 自分のあこがれの人について、その魅力や偉業などを相手に知ってもらうために、その人の特徴やしたことなどについて伝えることができる。
- アルファベット(a, e, i, o, u)の音について理解し、音を聞いてどの文字かわかる。

他教科との関連：キャリア教育

2. 言語材料

語句	特徴	smart, kind, creative, famous, funny, gentle, popular, cool など
	したこと	created popular movie, wrote the Harry Potter books, saved many people, won the Nobel Prize
	職業	doctor, comic writer, teacher, musician, soccer player, fashion designer など
表現		This is (my mother). (She's) (a doctor). (She's) (smart). (She) (saved many people).

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的(下線部)に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 人物の特徴やしたことを表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた話し手のあこがれの人物の紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	相手のことをよく知るために、あこがれの人についてのまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために、あこがれの人についてのまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 A	人物の特徴やしたことを表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 B	人物の特徴やしたことを表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取るようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	○<知識> 人物の特徴やしたことを表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、自分のあこがれの人物について伝える技能を身につけている。	○友達に自分のあこがれの人について知ってもらうために、その人の特徴やしたことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝えている。	○友達に自分のあこがれの人について知ってもらうために、その人の特徴やしたことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	①<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、人物の特徴やしたことを表す語句や表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。 ②<知識> a,e,i,o,uの音読みについて理解している。 <技能> 初頭や真ん中の文字を頼りに、単語の文字と音を結びつけることができる。	他者のことをよく知るために、その人があこがれる人について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味がわかっている。	他者のことをよく知るために、その人があこがれる人について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味をとらえようとしている。
評価基準 A	①音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。 ②イラストの補助なしに、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、必要な情報を読み取ろうとしている。
評価基準 B	①音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。 ②イラストの補助を得ながら、単語の文字と音を結びつけることができる。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	○<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、人物の特徴やしたことを表す語句や表現について、その文構造を理解している。 ○<技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	他者に自分の事をわかってもらうために、あこがれの人物の特徴やしたことについて、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、表現している。	他者に自分の事をわかってもらうために、あこがれの人物の特徴やしたことについて、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (60-63)	目標 身近な人や好きな人物の特徴を言ってみよう。準備編 身近な人物や好きな人物の特徴を表す語句を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Words and Phrases】【Jingle】 ・特徴を表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・人について、その職業や特徴などを紹介する表現を練習する。 【Activity】① ・紹介したい人物の職業や特徴を考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (62-63)	目標 身近な人や好きな人物の特徴を言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 ・特徴を表す語句を復習する。 【Listen and Do】 ・人物の特徴を聞き取る。 【Chant】 ・人について、その職業や特徴などを紹介する表現を復習する。 【Activity】 ・好きな人物やその特徴を紹介し合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (64-65)	目標 好きな人物について、その人がしたことを言ってみよう。準備編 好きな人物がしたことを言う表現を知ろう。 Small Talk 【Listen and Do①】 ・様々な人物がしたことを聞き取る。 【Jingle】 ・したことを表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・人について、その職業やしたことを紹介する表現を練習する。 【Activity】 ・自分の好きな人物がしたことを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (64-65)	目標 好きな人物について、その人がしたことを言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do②】 ・人物の概要を聞き取る。 【Jingle】 ・したことを表す語句を復習する。 【Chant】 ・人について、その職業やしたことを紹介する表現を復習する。 【Activity】 ・好きな人物について伝え合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (66-67)	目標 あこがれの人について伝えよう。準備編 あこがれの人についてペアで伝え合おう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.62-65 ・好きな人物について紹介するために必要な表現を復習する。 【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・あこがれの人について、ペアで伝え合う。 【Friends around the World】 ・外国の子どもが、あこがれの人を紹介する映像を視聴する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (66-67)	目標 あこがれの人について伝えよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.62-65 ・好きな人物について紹介するために必要な表現を復習する。 【Activity】 ・あこがれの人物についてグループ内で発表する。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
7	*Let's Read and Write 5 (69)	目標 文字の音を知ろう。 【1】【2】 ・アルファベットの音読みを聞いてくり返す。 小文字カルタ ・アルファベットの音と文字が結びついているか確認する。 【3】 ・音声を聞いて、読まれた語を選ぶ。 ・文字をなぞる。書き写す。 【4】 ・音声を聞いてくり返す。 【5】 ・音声を聞いて、読まれた方を選ぶ。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※Let's Read and Write を 1,3,5 時間目に分割して配当することで、7 時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価
 ㊤学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ㊤目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ㊤音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。また、a,e,i,o,u の音読みについて理解し、その音を頼りに単語の文字と音を結び付ける技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ㊤目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ㊤音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ㊤目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 友達と小学校の思い出を共有したり、自分の一番の思い出を友達に知ってもらったりするために、思い出の学校行事や、そこでしたことについて伝えることができる。

2. 言語材料

語句	学校行事	entrance ceremony, field trip, swimming meet, sports festival, school camp, school trip, drama festival, school marathon, music festival, graduation ceremony
	したこと	saw many animals, ate lunch, ran fast, won first place, made curry and rice, enjoyed the campfire, saw Tokyo Skytree, bought souvenirs, made a costume, played Cinderella, enjoyed singing, played the recorder
	感想	fun, great, exciting
表現	What's your favorite memory? — It's (the school trip). It was (fun). My favorite memory is (the school trip). (I bought souvenirs).	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的(下線部)に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 思い出の学校行事やそこでしたこと、感想を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた小学校の思い出を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	他者が伝えたい小学校での思い出を知るために、学校行事でしたことや感想を含むまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取っている。	他者が伝えたい小学校での思い出を知るために、学校行事でしたことや感想を含むまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 A	思い出の学校行事やその感想を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 B	思い出の学校行事やその感想を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取るようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 思い出の学校行事をたずねたり答えたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	○友達と、小学校での大事な思い出を共有するために、思い出に残る学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	○友達と、小学校での大事な思い出を共有するために、思い出に残る学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> 思い出の学校行事やそこでしたこと、感想を伝える表現について理解している。 ◎<技能> 上記表現を用いて、自分のことを伝える技能を身につけている。	◎聞き手に、自分の小学校での思い出を知ってもらうために、思い出の学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えている。	◎聞き手に、自分の小学校での思い出を知ってもらうために、思い出の学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、思い出の学校行事やそこでしたこと、感想を表す語句や表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。	他者が伝えたい小学校での思い出を知るために、学校行事やそこでしたこと、その感想について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味がわかっている。	他者が伝えたい小学校での思い出を知るために、学校行事やそこでしたこと、その感想について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味をとらえようとしている。
評価基準 A	音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。	目的に沿って、必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、必要な情報を読み取るようとしている。
評価基準 B	音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取るようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	○<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、思い出の学校行事やそこでしたこと、感想を表す文について、その文構造を理解している。 ○<技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	卒業文集などに小学校での思い出を残すために、学校行事やそこでしたこと、感想について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現している。	卒業文集などに小学校での思い出を残すために、学校行事やそこでしたこと、感想について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (70-73)	目標 思い出の学校行事をたずね合おう。準備編 思い出の学校行事を伝える表現を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Jingle】 ・学校行事を表す語句に慣れ親しむ。 【Listen and Do①】 ・思い出の学校行事やその感想を聞き取る。 【Chant】 ・小学校の思い出をたずね合う表現を練習する。 【Activity】① ・自分の思い出の学校行事について考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (72-73)	目標 思い出の学校行事をたずね合おう。 Small Talk 【Jingle】 ・学校行事を表す語句を復習する。 【Listen and Do②】 ・思い出の学校行事について概要を聞き取る。 【Chant】 ・小学校の思い出をたずね合う表現を復習する。 【Activity】 ・思い出の学校行事をたずね合い、ランキング表を作る。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (74-75)	目標 思い出の行事でしたことを言ってみよう。準備編 学校行事でしたことを言う表現を知ろう。 Small Talk 【Words and Phrases】【Jingle】 ・したことを表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・思い出の学校行事や、そこでしたことを伝える表現を練習する。 【Activity】① ・思い出の行事や、そこでしたことを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (74-75)	目標 思い出の行事でしたことを言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do】 ・思い出の学校行事や、そこでしたことを聞き取る。 【Jingle】【Chant】 ・思い出の学校行事や、そこでしたことを伝える語句や表現を復習する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
		【Activity】 ・思い出の学校行事や、そこでしたことを伝え合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				
5	3 (76-77)	目標 小学校の思い出を伝えよう。準備編 小学校の思い出をペアで伝え合おう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.70-75 ・小学校の思い出を伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・小学校の思い出をペアで伝え合う。 【Friends around the World】 ・外国の子どもが、小学校の思い出を話す映像を視聴する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (76-77)	目標 小学校の思い出を伝えよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.70-75 ・小学校の思い出を伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Activity】 ・小学校の思い出をグループ内で発表する。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。	発	発	発	話すこと【発表】の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉
7	*Let's Read 1 (79)	目標 韻を踏んだ文を楽しもう。 【1】 ・音声を聞いて、くり返す ・リズムに乗せて読み、韻を踏んでいることに気づかせる。 【2】 ・文が表す絵を見つける。 ・絵の中のことを描写する。				

※Let's Read and Write を 1,3,5 時間目に分割して配当することで、7 時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

1. 単元の目標

目的に沿って、Unit 4～6 で学んだ語句や表現を聞き取ったり、話したりすることができる。

2. 言語材料

Unit 4

語句	感想	great, good, fun, exciting
	行った場所	beach, park, river, mountains, lake, grandparents' house, stadium など
	見たもの	rainbow, beetle, fireworks, movie, soccer game など
	食べたもの	watermelon, grilled fish, curry and rice など
	楽しんだこと	swimming, fishing, hiking, camping,
	買ったもの	soccer uniform
	したこと	badminton, piano
	作ったもの	curry and rice, model ship
	読んだもの	book
	過去の動作	went to, saw, ate, enjoyed, watched, bought, played, made, read
表現	How was your summer vacation? — It was (great). I (went to the beach). What did you do yesterday? — I (played tennis) (yesterday). It was (exciting).	

Unit 5

語句	特徴	smart, kind, creative, famous, funny, gentle, popular, cool など
	したこと	created popular movie, wrote the Harry Potter books, saved many people, won the Nobel Prize
	職業	doctor, comic writer, teacher, musician, soccer player, fashion designer など
表現	This is (my mother). (She's) (a doctor). (She's) (smart). (She) (saved many people).	

Unit 6

語句	学校行事	entrance ceremony, field trip, swimming meet, sports festival, school camp, school trip, drama festival, school marathon, music festival, graduation ceremony
	したこと	saw many animals, ate lunch, ran fast, won first place, made curry and rice, enjoyed the campfire, saw Tokyo Skytree, bought souvenirs, made a costume, played Cinderella, enjoyed singing, played the recorder
	感想	fun, great, exciting
表現	What's your favorite memory? — It's (the school trip). It was (fun). My favorite memory is (the school trip). (I bought souvenirs).	

3. 単元の評価規準例

- ◎は記録に残す総括的評価の対象。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	◎<知識> これまでに学習した語句や表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した語句や表現を聞いて具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	◎Mia の話に応じて話すために、必要な情報を聞き取っている。	◎Mia の話に応じて話すために、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 A	これまでに学習した語句や表現を聞いて、正しく理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 B	これまでに学習した語句や表現を聞いて、おおむね正しく理解できている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取るようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<知識> ◎これまでに学習した表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した表現を用いて、自分のことを話す技能を身につけている。	◎互いの近況などについて知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いて会話を続けている。	◎互いの近況などについて知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いて会話を続けようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って質問したり、答えたりし、即興で会話を続けている。	目的に沿って質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	(80)	目標 外国の人と、最近のできごとについて話そう。準備編 Small Talk ・Unit 4～6 で学んだ表現を使う。 【Jingle】【Chant】(Unit 4-6) ・Unit 4～6 で学んだ語句や表現を復習する。 【Try】 ・Mia の話を聞いて、その話に応じて自分が話すために概要をとらえる。 ・Mia の話に対する感想を言って、自分のことも話し、会話を続ける。	聞	聞	聞	聞くことの記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈記述分析〉 目的に沿って必要な情報を聞き取るようとしている。〈記述分析〉
2	(80-81)	目標 外国の人と、最近のできごとについて話そう。 Small Talk ・Challenge への導入。 【Try】 ・より良い話し方を考え、もう一度話す。 【Challenge】 ・質問に答える。	や	や	や	話すこと [やり取り] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って会話を続けている。〈行動観察〉〈記述分析〉 ◎目的に沿って会話を続けようとしている。〈行動観察〉〈記述分析〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分ことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

将来の夢についての自分の思いや考えを知ってもらうために、つきたい職業やその理由について伝えることができる。

他教科との関連：キャリア教育

2. 言語材料

語句	職業	an actor, a teacher, a police officer, an illustrator, a soccer player, a comedian, a pastry chef, a pilot, a farmer, a voice actor, a game creator, a scientist, a fire fighter, a doctor, an astronaut, a baker, a flight attendant, a dentist, a hairdresser, a nursery school teacher, a nurse, a musician, a vet, a fashion designer
表現		What do you want to be? — I want to be (a vet). Why? — I (want to save animals).

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 将来つきたい職業やその理由を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた将来の夢についての話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	他者の考えを理解するために、将来つきたい職業についてのまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取っている。	他者の考えを理解するために、将来つきたい職業についてのまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	将来つきたい職業やその理由を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	将来つきたい職業やその理由を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	◎<知識> 将来つきたい職業やその理由をたずねたり答えたりする表現について理解している。 ◎<技能> 上記表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	◎友達と、互いの考えを理解し合うために、将来つきたい職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	◎友達と、互いの考えを理解し合うために、将来つきたい職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	○<知識> 将来つきたい職業やその理由を伝える表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、自分のことを伝える技能を身につけている。	○聞き手に、自分の考えを知ってもらうために、将来つきたい職業やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えている。	○聞き手に、自分の考えを知ってもらうために、将来つきたい職業やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、将来つきたい職業やその理由を表す語句や表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。	他者の考えを理解するために、将来つきたい職業について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味がわかっている。	他者の考えを理解するために、将来つきたい職業について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味をとらえようとしている。
評価基準 A	音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。	目的に沿って、必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、必要な情報を読み取ろうとしている。
評価基準 B	音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	○<知識> 音声で十分慣れ親しんだ、将来つきたい職業やその理由を表す文について、その文構造を理解している。 ○<技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	自分の将来の夢を記録に残すために、つきたい職業やその理由について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現している。	自分の将来の夢を記録に残すために、つきたい職業やその理由について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (82-85)	目標 将来つきたい職業をたずね合おう。準備編 将来つきたい職業をたずねたり答えたりする表現を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Words and Phrases】【Jingle】 p.82,84 ・職業を表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・つきたい職業をたずね合う表現を練習する。 【Activity】① ・将来つきたい職業を考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (84-85)	目標 将来つきたい職業をたずね合おう。 Small Talk 【Jingle】 ・職業を表す語句を復習する。 【Listen and Do】 ・つきたい職業を聞き取る。 【Chant】 ・つきたい職業をたずね合う表現を復習する。 【Activity】 ・つきたい職業をたずね合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (86-87)	目標 将来つきたい職業とその理由を言ってみよう。準備編 将来つきたい職業やその理由を言う表現を知ろう。 Small Talk 【Listen and Do①】 ・つきたい職業を聞き取る。 ・理由を言うための表現を知る。 【Jingle】【Chant】 ・つきたい職業や、その理由をたずねたり答えたりする語句や表現を練習する。 【Activity】① ・将来つきたい職業とその理由を考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (86-87)	目標 将来つきたい職業とその理由を言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do②】 ・つきたい職業やその理由を聞き取る。 【Jingle】 p.82,84 ・職業を表す語句を復習する。 【Chant】 ・つきたい職業や、その理由をたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・つきたい職業や、その理由をたずね合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。	や	や	や	話すこと [やり取り] の記録に残す評価 ㊤学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ㊤目的に沿って、質問したり答えたりしている。〈行動観察〉 ㊤目的に沿って、質問したり答えたりしようとしている。〈行動観察〉

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (88-89)	目標 将来の夢を伝えよう。準備編 将来の夢をペアで伝え合おう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.82-87 ・将来の夢について伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・将来の夢をペアで伝え合う。 【Friends around the World】 ・外国の子どもの将来の夢を話す映像を視聴する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (88-89)	目標 将来の夢を伝えよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.82-87 ・将来の夢を伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Activity】 ・将来の夢をグループ内で発表する。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
7	Let's Read 2 (91)	目標 物語を楽しもう。 ・物語を視聴する。 ・音声を聞いてくり返す。 ・文字を指で追いながら聞く。 ・ワークシートでイラストの吹き出しに入る文を選ぶ。 ・映像に合わせてセリフを言う。				

※年間の配当時数に予備時間を設けているので、8時間目を設けて評価テストを行うこともできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価をそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価 ㊤学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉 ㊤目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉
読むことの記録に残す評価 ㊤音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。〈評価テスト〉 ㊤目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉
書くことの記録に残す評価 ㊤音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉 ㊤目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
書くこと	イ 自分ことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

1. 単元の目標

中学校での目標を中学生に知ってもらうために、部活動など中学校でやってみたいことを伝えることができる。

他教科との関連：キャリア教育

2. 言語材料

語句	部活動	baseball team, swimming team, tennis team, soccer team, track and field team, basketball team, table tennis team, chorus, brass band, art club, science club, <i>judo</i> club, computer club, English club, dance club
	中学校でやってみたいこと	go on a field trip, sing in the chorus contest, wear the school uniform, attend Career Day, make many friends, study English hard, do volunteer work
表現		What club do you want to join? — I want to join (the soccer team). — That's great! What do you want to do in junior high school? — I want to (study English hard).

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的(下線部)に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 部活動など中学校でやってみたいこと、その理由を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた中学校でやってみたいことの話聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	中学校で自分がやってみたいことを見つげるために、中学校の紹介や他者が中学校でやってみたいことについてのまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取っている。	中学校で自分がやってみたいことを見つげるために、中学校の紹介や他者が中学校でやってみたいことについてのまとまった話を聞いて概要をとらえ、必要な情報を聞き取るようにしている。
評価基準 A	部活動など中学校でやってみたいこと、その理由を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、概要をとらえたり、内容を整理したりしながら、必要な情報を聞き取るようにしている。
評価基準 B	部活動など中学校でやってみたいこと、その理由を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取るようにしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 中学校でやってみたいことをたずねたり答えたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	友達と、中学校への期待感を共有するために、中学校でやってみたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	友達と、中学校への期待感を共有するために、中学校でやってみたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けている。	目的に沿って相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> 中学校でやってみたいことを伝える表現について理解している。 ◎<技能> 上記表現を用いて、自分のことを伝える技能を身につけている。	◎聞き手に、中学校への期待感を示すために、中学校でやってみたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えている。	◎聞き手に、中学校への期待感を示すために、中学校でやってみたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、情報を整理し、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> 音声で十分に慣れ親しんだ、中学校でやってみたいことを表す語句や表現について、その文字と音との関係を理解している。 <技能> 上記の語句や表現を読んで意味がわかる技能を身につけている。	他者の考えを知るために、中学校でやってみたいことについて、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味がわかっている。	他者の考えを知るために、中学校でやってみたいことについて、簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味をとらえようとしている。
評価基準 A	音声やイラストなどの補助なしに、語句や表現の意味を理解することができる。	目的に沿って、必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、必要な情報を読み取ろうとしている。
評価基準 B	音声やイラストなどの補助を得ながら、語句や表現の意味をおおむね理解することができる。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取っている。	目的に沿って、イラストなどの補助を得ながら必要な情報を読み取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	◎<知識> 音声で十分に慣れ親しんだ、中学校でやってみたいことを表す文について、その文構造を理解している。 ◎<技能> 上記表現を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	◎中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くために、中学校でやってみたいことについて、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分の気持ちを表現している。	◎中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くために、中学校でやってみたいことについて、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分の気持ちを表現しようとしている。
評価基準 A	文を書くときのルールに沿って、正しい語順で文を書き写すことができている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書いている。	目的に沿った内容を、読み手に伝わるように情報を整理して書こうとしている。
評価基準 B	文を書くときのルールに少し誤りがあるが、正しい語順で、文の意味が分かるように書き写すことができている。	目的に沿った内容を書いている。	目的に沿った内容を書こうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (92-95)	目標 中学校でやってみたい部活動を言ってみよう。準備編 やってみたい部活動をたずねたり答えたりする表現を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Jingle】 ・部活動を表す語句に慣れ親しむ。 【Listen and Do①】 ・やってみたい部活動を聞き取る。 【Chant】 ・やってみたい部活動をたずね合う表現を練習する。 【Activity】① ・中学校でやってみたい部活動を考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (94-95)	目標 中学校でやってみたい部活動を言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 ・部活動を表す語句を復習する。 【Listen and Do②】 ・やってみたい部活動についての話の概要を聞き取る。 【Chant】 ・やってみたい部活動をたずね合う表現を復習する。 【Activity】 ・中学校でやってみたい部活動をたずね合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (96-97)	目標 中学校でやってみたいことを言ってみよう。準備編 中学校でやってみたいことをたずねたり答えたりする表現を知ろう。 Small Talk 【Listen and Do①】 ・中学校でやってみたいことを聞き取る。 【Jingle】【Chant】 ・中学校でやってみたいことをたずねたり答えたりする語句や表現を練習する。 【Activity】① ・中学校でやってみたいことを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (96-97)	目標 中学校でやってみたいことを言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do②】 ・中学校でやってみたいことの概要を聞き取る。 【Jingle】【Chant】 ・中学校でやってみたいことをたずねたり答えたりする語句や表現を復習する。 【Activity】 ・中学校でやってみたいことをたずね合う。 ・例文を見ながら、自分が話した内容を書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (98-99)	目標 中学校でやってみたいことを手紙に書いてみよう。準備編 中学校でやってみたいことを含めたお礼の動画の内容を考えよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.92-97 ・中学校でやってみたいことを伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・セリフを聞いて、文字を指で追う。 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・動画の内容を考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (98-99)	目標 中学校でやってみたいことを手紙に書いてみよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.92-97 ・中学校でやってみたいことを伝えるために必要な語句や表現を復習する。 【Activity】 ・中学校でやってみたいことを含むお礼の内容をグループ内で発表し、動画を撮影する。 ・例文を見ながら手紙を書く。	発 書	発 書	発 書	話すこと【発表】の記録に残す評価 ㊦学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ㊧目的に沿って伝えている。〈行動観察〉 ㊨目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉 書くことの記録に残す評価 ㊦音声で十分慣れ親しんだ文について、その文構造を理解し、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。〈記述分析〉 ㊧目的に沿って書いている。〈記述分析〉 ㊨目的に沿って書こうとしている。〈記述分析〉
7	Let's Read 3 (101)	目標 物語を楽しもう。 ・物語を視聴する。 ・音声を聞いてくり返す。 ・文字を指で追いながら聞く。 ・内容についての質問に答える。 ・映像に合わせてセリフを言う。				

※年間の配当時数に予備時間を設けているので、8時間目を設けて評価テストを行うこともできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価をそのテストで行うことができます。

聞くことの記録に残す評価 ㊦学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉 ㊧目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価 ㊦音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、文字と音との関係を理解し、読んで意味がわかる技能を身につけている。〈評価テスト〉 ㊧目的に沿って必要な情報を読み取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価 ㊦音声で十分慣れ親しんだ文について、文構造を理解し、書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉 ㊧目的に沿った内容を書いている。〈評価テスト〉
--

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

1. 単元の目標

目的に沿って、これまでに学んだ語句や表現を聞き取ったり、話したりすることができる。

2. 言語材料

これまでに学んだ語句や表現すべて。

3. 単元の評価規準例

- ◎は記録に残す総括的評価の対象。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	◎<知識> これまでに学習した語句や表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した語句や表現を聞いて具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	◎条件に合った遠足の行先を選ぶために、必要な情報を聞き取っている。	◎条件に合った遠足の行先を選ぶために、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	これまでに学習した語句や表現を聞いて、正しく理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	これまでに学習した語句や表現を聞いて、おおむね正しく理解できている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<知識> ◎これまでに学習した表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した表現を用いて、自分のことを話す技能を身につけている。	◎提案を相手に納得してもらうために、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りしている。	◎提案を相手に納得してもらうために、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いてやり取りすることができている。	目的に沿ってやり取りし、即興で会話を続けている。	目的に沿って質問したり、答えたりし、即興で会話を続けようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、やり取りすることができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価		
			知 技	思 判	態 度
1	(102)	目標 条件に合う提案をしよう。準備編 Small Talk 【Chant】 ・Try で必要な表現を復習する。 【Try】 ・施設の案内を聞いて、必要な情報をメモする。 ・条件に合った施設を選び、提案する。	聞	聞	聞
聞くことの記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取ろうとしている。〈記述分析〉					
2	(102-103)	目標 条件に合う提案をしよう。 Small Talk ・Challenge への導入。 【Try】 ・より良い提案の仕方を考え、もう一度話す。 【Challenge】 ・質問に答える。	や	や	や
話すこと [やり取り] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、用いる技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿ってやり取りしている。〈行動観察〉〈記述分析〉 ◎目的に沿ってやり取りしようとしている。〈行動観察〉〈記述分析〉					